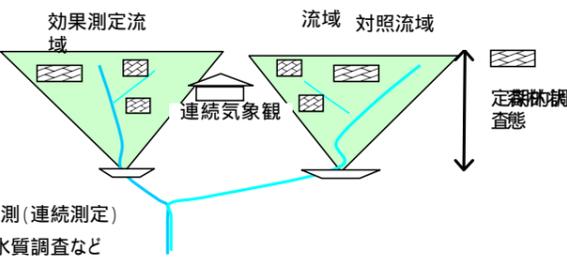
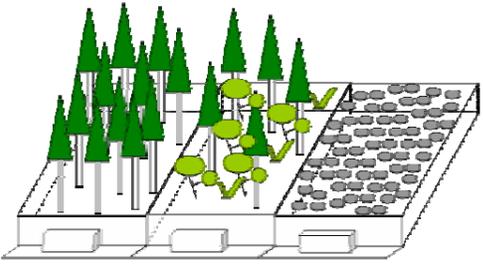


「対照流域法等による森林の水源かん養機能調査」の概要

試験概要	手法名	対照流域法		斜面ライシメーター法			
	概要	地形、植生、気象条件などが類似した近接する複数流域に量水堰堤などの観測施設を設置し、異なる典型的な施業を行い、流域の自然環境や水収支などの変化を時系列的に調査して、個別事業の事業結果の評価に参考となる各種データを収集する。	同一斜面に、コンクリート枠の試験区を設定し、森林状態を変えて、水流出や土壌流出の変化を時系列的に調査し、森林整備事業結果の評価に参考となる各種データを収集する。				
設置予定流域	H20: 宮ヶ瀬湖上流清川村大洞沢 H21: 相模湖上流相模原市相模湖町貝沢	未定					
モニタリング区分	流域環境総合モニタリング			水・土砂流出量モニタリング			
モニタリング項目	水収支、土壌環境、溪流環境、流域自然環境(生物相)、水質、気象			水流出量、土砂流出量、水質、林床植生、気象など			
主要施設・設備	量水堰堤、気象等観測ステーション			斜面ライシメーター、気象観測ステーション			
							
H19年度実施内容	実施概要	H20年設定流域(宮ヶ瀬ダム上流、対照流域法)基本情報の整備、基本施設整備、モニタリング施設設計、データ管理システム設計・開発とともに、事前環境調査、事前環境測定、総合解析手法検討を行い、調査結果の公表方法の検討、H19年度結果の公表を行う。 昭和56年から水文観測を継続している清川村大洞沢流域内に対照流域2流域を設定し、量水堰堤ほかの施設整備を行い、水収支、土壌環境、溪流環境、流域自然環境について継続的に調査する。					
	設定流域	中津川大洞沢流域		場所: 清川村大洞沢			
	調査項目	モニタリング項目: 概況、気象(降水量、温度、日射)、水循環(流出量、水収支、水質)、土砂流出(侵食状態、流出量、濁度)、土壌(土壌構造、理化学性、土壌生物、落葉堆積状態)、溪流環境(藻類、底生生物)、昆虫、植生、植物、森林状態(林相、林分構造、施業履歴) 当該流域の当初5カ年計画: H19: 体制整備、施設設計、事前調査、モニタリング準備を行う。H20: 施設整備、1回目の森林整備の実施 H21-23: モニタリング、森林整備の継続実施。H23: 中間取りまとめ、H24: 中間取りまとめ公表					
全体計画	流域名	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	宮ヶ瀬ダム上流域 清川村大洞沢	事前環境調査・流域モデル構築	施設設定	モニタリング		中間とりまとめ	中間成果公表
	津久井ダム上流域 旧相模湖町貝沢	事前環境調査・流域モデル構築	試験地設定	モニタリング			
	丹沢湖上流域			事前環境調査・流域モデル構築	試験地設定モニタリング		
	酒匂川流域上流				事前環境調査・流域モデル構築	試験地設定	